

## 課題分析標準項目

### 基本情報に関する項目

No	標準項目名	基本情報
1	受付年月	令和6年4月10日
	受付対応者	S 介護支援専門員
	受付方法	自宅訪問
	氏名・性別・年齢・住所・電話番号	A 男 70歳 長崎市〇町3丁目18番14号      〇〇〇-123-4567
	家族状況	妻と長女の3人家族。妻との2人暮らしで、妻は脊 <sup>せき</sup> 柱 <sup>ちゆう</sup> 管 <sup>かん</sup> 狭 <sup>きよう</sup> 窄 <sup>さく</sup> 症 <sup>しやう</sup> で腰痛や下肢の痺れがあり、身体介護は困難。長女は結婚して隣町に在住しているが、今回の退院を機に泊まり込みを多くして、介護することになった。 本人の両親は他界し、兄弟はなし。
2	これまでの生活と現在の状況	長崎市で出生、高校卒業後、飲食店に勤める。勤務先で妻と出会い結婚。結婚後、家業である飲食店を継ぐ。従業員10名ほどのお店で、地元はもちろん、他県からも来店客がいるほどの人気店となった。テレビ中継や雑誌にも取り上げられた。明るい性格で友人も多い。町内会のお祭りの役員をしており、神事を大切にしている。高血圧症にて通院していたが家業が忙しく通院できない時もあった。2か月前に体調不良があり受診すると、大学病院を紹介され検査入院。胆管癌末期と診断。飲食店は従業員に任せている。症状緩和の治療のみを行い、自宅退院。
3	利用者の社会保障制度の利用情報	医療保険：国民健康保険 身体障害者手帳：なし 年金：国民年金 その他：家賃収入あり
4	現在利用している支援や社会資源の状況	なし
5	日常生活自立度(障害)	C1
6	日常生活自立度(認知症)	該当せず
7	主訴・意向	本人：自宅に戻り家族と生活したい。お祭りに参加したい。せめて目の前で見てみたい。お腹が痛いし食べられないし心配。病院に行って楽になるならもう一度戻ることも考えている。 妻：急なことで気持ちが追いつかないこともあるが、家族に囲まれて自宅で穏やかに生活させてあげたい。苦しんでいるのに何もしてあげられないから、見ているとつらくなる。 長女：母も持病を抱えているため体調面に不安がある。私ができるだけ泊まり込んで介護を助けたい。
8	認定情報	要介護3 有効期間 令和6年3月1日～令和7年2月29日

9	今回のアセスメントの理由	新規依頼のため、初回アセスメント がん末期の在宅支援
---	--------------	-------------------------------

## アセスメントに関する項目

No	標準項目名	基本情報
10	健康状態	<p>胆管がん末期。本人・家族への告知済み。</p> <p>腹痛が強まり、医療用麻薬を増量。腹部膨満感、下腿浮腫が顕著。</p> <p>食欲不振のため低栄養状態。</p> <p>現病歴：胆管がん、多発肝転移、多発肺転移、高血圧</p> <p>症状：腹痛、腹部膨満感、食欲低下、下腿浮腫</p> <p>痛み：○(腹痛あり、体を動かすと強くなる)・無</p> <p>拘縮：有( )・○(無)</p> <p>褥そう：有( )・○(無)</p> <p>身長：160cm 体重 50kg BMI 19.5</p> <p>血圧：140/82mmHg</p> <p>服薬：眠っていると飲み忘れるため、妻と長女の声かけが必要</p> <p>本人の健康に対する意識：病気の告知や予後について理解している。腹痛や食欲不振があり不安が高まっている。</p> <p>かかりつけ医：B 診療所、B 医師、 受診状況：訪問診療 週1回</p> <p>かかりつけ薬剤師：E 薬局、○</p> <p>服薬：有（利尿剤 降圧剤 医療用麻薬オキシコンチン 8時20時）</p>
11	ADL	<p>○移動：室内は何とか介助でトイレまで歩いているが、ふらつきが強い。室外は車いす介助</p> <p>○寝返り：支持物があれば自立</p> <p>○起居：手すりを把持して起き上がる。腹水貯留及び下腿浮腫があり動作緩慢</p> <p>○座位保持：自立</p> <p>○移乗：体調により変動するがふらつきがあるため支えながら移乗することもある</p> <p>○排尿・排便：尿便意あり、介所でトイレまで移動。動作緩慢のため間に合わず失禁することもあるためリハビリパンツを着用。</p> <p>○立位保持：手すりをつかまえて可能</p> <p>○階段昇降：手すりをもちながら一段一段ゆっくり昇降する。</p> <p>○更衣：協力動作はあるが倦怠感強く、介助している。</p> <p>○入浴・洗身：入院中はシャワー浴にて洗身介助。短時間で行っている。</p> <p>○食事：食欲が低下しているが本人が食べたいタイミングで食べている</p> <p>○洗面：自立</p>
12	IADL	<p>○調理：全介助</p> <p>○服薬：長女が管理。眠っていると飲み忘れるため声かけが必要</p> <p>○掃除：全介助</p> <p>○洗濯：全介助</p> <p>○整理・物品の管理：全介助</p> <p>○金銭管理：全介助</p> <p>○買い物：全介助</p>

		○電話: 自立 ○交通機関の利用: 1人では難しい ○車の運転: 今は行っていない
13	認知機能や判断能力	認知機能低下やせん妄はない。
14	コミュニケーションにおける理解と表出の状況	問題なし
15	生活リズム	夜間は良眠。日中はテレビを見ながら過ごしている。 眠っている時間が増えている。
16	排泄の状況	尿便意あり。動作緩慢のため間に合わず失禁することもある。
17	清潔の保持に関する状況	体力低下あり、洗面は自立しているが、更衣は妻や長女が手伝う。 入浴は、転倒が心配と行えていない。
18	口腔内の状況	自分で歯磨きをする。義歯なし。
19	食事摂取の状況	食事量が少ない。用意すれば自力摂取可能。
20	社会との関わり	長年飲食店を経営しており、友人が多い。 町内会の役員をしている。
21	家族等の状況	主介護者は長女、健康であるが初めての介護のため不安がある。 病院から介助指導を受けている。長女の夫は妻の介護を応援しているが、妻の生活が犠牲になるのではないかと心配している。
22	居住環境	3階建ての持ちビルの2階に居住。3階には従業員が住んでいる。店は従業員に任せている。 室内はバリアフリーだが、手すりなどの設置はなし。
23	その他留意すべき事項・状況	胆管がん末期で予後不良。 体調は日に日に悪くなっておりADLも低下している。

※住宅の見取り図(必要に応じて)